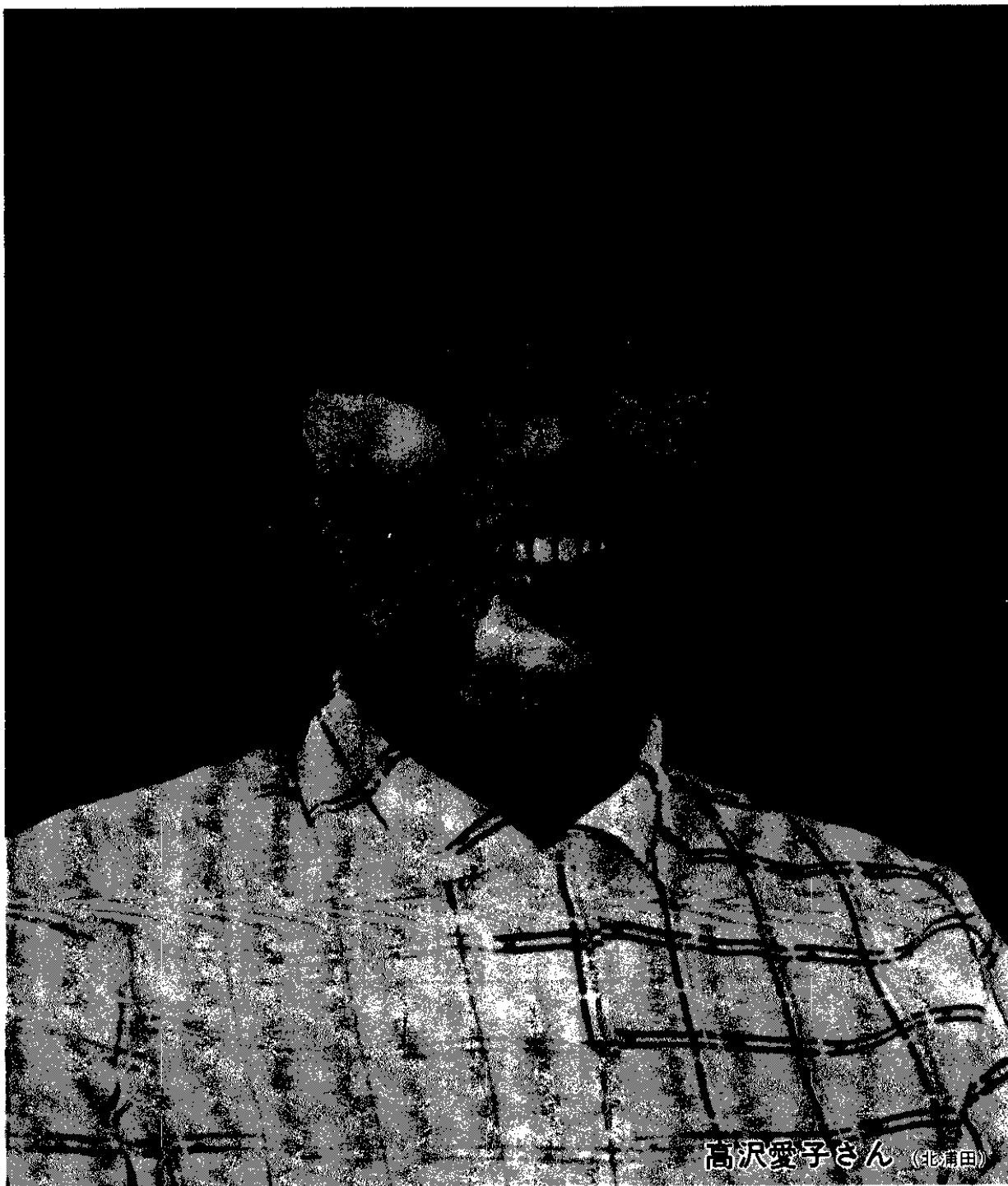


本報 まつやま

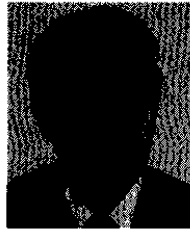
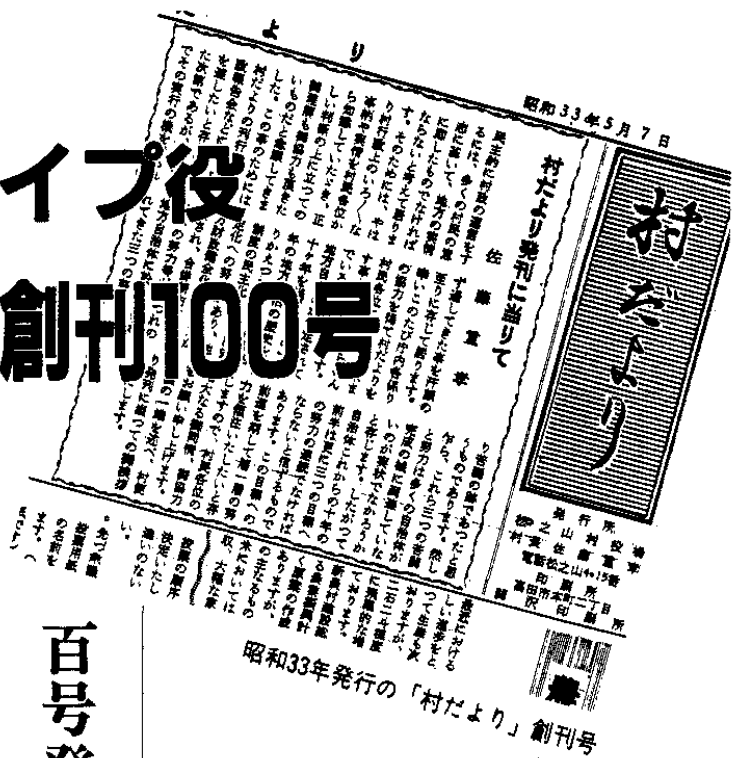
創刊100号記念特集

1984 **6**



高沢愛子さん (杉浦田)

行政と住民のパイプ役 『広報まつのやま』創刊100号



松之山町長 村山 政光

百号発行にあたり

思うこと

広報まつのやまが発行以来百号になるという。昭和三十三年以来というから二十六年も経てやっと思号なのかと思ったが、毎月発行するようになってから未だ数年でしかない。詳しいことは近く百号までの全部を縮刷版にして希望者に配布（有償）することだが、金も人も無かったというか、広報活動が遅

れていたというか、いざれにしても余り自慢出来る話ではない。これからは確実に発行し、八年と四カ月後には必ず二百号をお届けするといったら、とんでもない、月に二回三回と発行している市町村があるといわれた。活字離れが進む昨今、情報文化の目まぐるしく変わる近頃では、広報まつのやまもどう変わるかわ

からない、十年先のことなどあまり公約しない方がいいともいわれた。寄らしむべし、知らしむべからず、とは封建時代の話だが、広報まつのやまはやもすると知らしむべし、聞くべからずの感がないでもない。もつと町民各位の意見発表の場を考えてはどうかと編集氏にいったら、原稿を公募しても特定の人、投書マニア的な人に限られてしまうという。詩や俳句、短歌、写真などに時々はっとするほどいいものに出合うことがある。たとえ半ページでもそれらを載せていくらかでも芸術性を表現してはどうかという、自分にはその選者になる資格がないといわれて、またなるほどと思つてし

まう。ほのぼのとしたお話、じーんと眼頭が熱くなるようなお話、抱腹絶倒笑いが止まらないお話など、ちまたには色々材料があると思う。各種、各分野で夫々仕事をしている町の皆さんを順次紹介しても結構いい紙面が出来るかも知れない。町の文化協会も出来たことだし、色々のサークルから、学校から推せんしてもらって載せたら選者を免がれての編集が可能でないか。広報まつのやま百号発行にあたり、以上の様なことを考えて筆を取りました。皆さんからどんどんいいお話、いいご意見をお寄せください。

五月三十一日

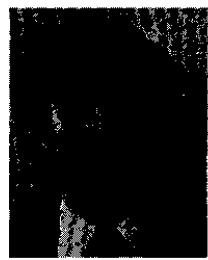
親しまれる広報に

全力投球

今号で昭和三十三年創刊以来実に二十六年の歳月を経て第百号を迎えました。この間町政と共に歴史を刻みながら多少なりとも皆さんと町とのパイプ役を務めて参りました。町もこの間教育、文化、産業

など著しい発展を挙げてきましたが、一方松之山、下鰐池の大地すべりや過疎問題など難問の続く大変な時期でした。この百号を節目に、ただ単にお知らせだけの広報ではなく、皆様の生の声を聞き、住民参加

の広報へと脱皮し、行政から住民への一方通行でなく相互交流の場の中で信頼され、親しまれる広報紙づくりに全力投球します。これからも町民各位の暖かいご協力とご意見、ご要望をお寄せ下さいますようお願い致します。百号にあたり広報の記録をもとに年表と思いの出の写真を特集してみました。町の歴史をふり返り、また明日の松之山町を築くための参考となれば幸いです。



広報への期待と注文

中島 良一 44歳

(松之山町・水梨)

地方自治の健全な発展に果たす「広報」の役割は、大きいと思う。その意味で広報「まつのやま」の百号達成を、住民の一人として喜ぶたい。

末端自治体行政と住民を結ぶ太いパイプ役に徹してほしい。広報「まつのやま」に対する、私の期待と注文に外ならない。地方自治体の情報公開が全国的に進んでいる下で、広報紙の重要性は一段と増大しつつあるからである。

そこでこの際、広報紙の今後の発展を願う立場から、二、三の提言をしたい。

第一に、住民の意見・主張欄を設けるべきである。末端自治体行政は常に、住民の意見に耳を傾ける姿勢を失ってはならない。「生の声」を吸い上げ、行政に反映させる努力を怠ってはならぬ。広報紙こそ、「町民の広場」ともいうべき「意見・主

張」欄に、可能な限りスペースを割かなければならないのではないか。

かつての「まつのやま」にはこうした欄が、読者・住民に用意されていたのを、想起せざるを得ない。特に、編集委員が数人で部落に出かけて行って記事にした「部落探訪」は、少なからぬ反響を呼び、町政に反映されたのが忘れられない。

こうした住民の悩みや意見の掘り起こしは、前町長の広報紙に対する考え方、方針に根拠しているのは、言うまでもあるまい。昭和三十三年五月七日付「村だより」創刊号紙上で、氏はこう書いている。「民主的に村政の運営をするには、多くの村民の意思に基づいて、地方の実情に即したものでなければならぬ」と。広報紙発刊の意義を、単なる「お知らせ」主義を超えて、不特定多数の住民の意思の

発掘吸収に求めた姿勢がうかがわれる。かかる考え方こそ、広報活動の原点というべきであろう。

次に、町議会の動きを、大胆に取り上げてもらいたい。自分たちの手で選んだ議員が、議会の場でどのような言動をしているか、住民にとって大きな関心事のはずだからである。

現在の広報も、議会の模様を伝えている。しかし、中途半端な感は免れない。例えば、議員の質問は載るが、行政執行責任者の答弁は明らかにされていないように思う。「そこが知りたい」という部分の広報が、いま一つ不足といった印象は、ぬぐえない。

最近、議会の傍聴に役場を訪れる町民の姿が、めつさり少なくなった。寂しい限りである。それだけに、広報紙の議会情報機能を高める必要を痛感する。

それには広報マンの相当の勇氣と議会側の協力が、要請されよう。しかし、議会活動や行政の活性化にとって、議会の動きを伝える広報紙の役割は、「議会報」とは異なった次元で重要だと、あえて指摘したい。

最後に、町に埋もれている文化や、農山村社会の片隅で貢献

住民の意見に耳傾け 『生の声』を 親しまれ信頼される 広報を期待

している「縁の下の方持ち」的存在の人々を発掘し、紙面に登場させてはどうか。それらの素顔が、農山村に生きる多くの人々に与える勇気づけと示唆は、

計り知れないと思うからだ。

その点、昨秋、「村歌舞伎」の復活を大きく取り上げたのは評価に値しよう。こうした面での好企画を、今後の広報に期待したい。

広報こそ住民に開かれた地方自治の、有力な担い手である。このことを、自治体も住民も相互に、自覚と認識を新たにしなければならぬ時だ、と思う。

行政当局や議会側にとって都合のわるいことも、時には広報しなければならぬ使命を負っている。広報は、自治体住民の「知る権利」に、積極的に応えなければならぬ。

近年、広報紙コンクールが盛んだ。しかし、それに入賞するのが、必ずしも良い広報だとは私は思わない。画一化の弊害を恐れるからである。自治体広報の要(かなめ)は、「独自性」の発露と具現にこそある、と言いたい。

わが町の広報紙が、独自のカラーを出しつつあるのは、若い女性で飾る表紙に象徴されていると思う。住民に親しまれ、信頼される「パイプ役」としての広報づくりへ、広報マンの一層の活躍を期待したい。わが町の広報こそわが町の足跡を後世に残す、かけがえのない財産だと信じてみたいのだ。

六年生葛飾を訪問

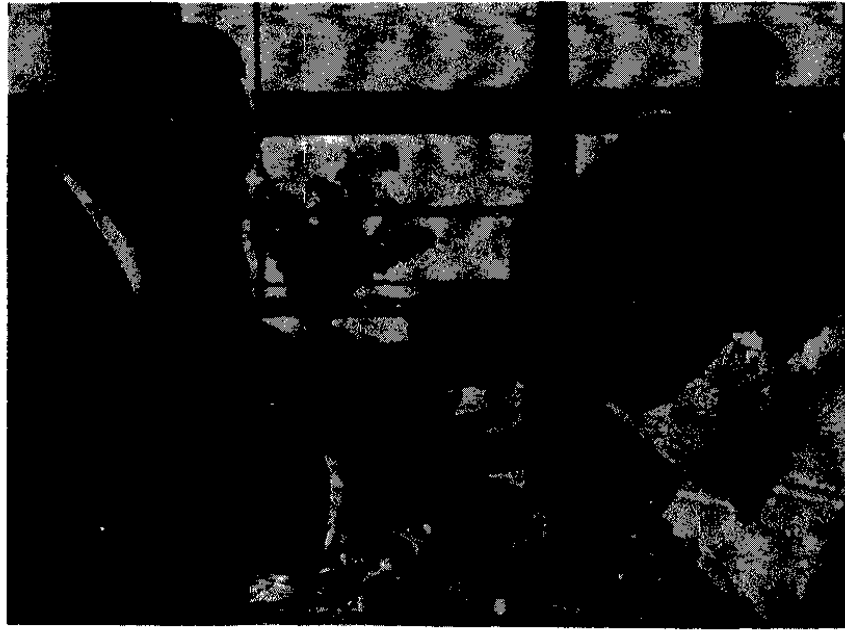
区長さんも歓迎会に出席

松之山町の小学校六年生全員（五十六人）が五月九日、東京の葛飾区立、清和小学校を訪問し大歓迎を受けた。

松之山町の小学校六年生全員（五十六人）が五月九日、東京の葛飾区立、清和小学校を訪問し大歓迎を受けた。

松之山町の小学校六年生全員（五十六人）が五月九日、東京の葛飾区立、清和小学校を訪問し大歓迎を受けた。

の株がプレゼントされた。この交歓会に同行した町の久保田教育長は、昨年町で第一回目の子供交歓会をやったり、今冬冒険学校で都会の子供達と交流を深めていることから、都会に行ってもものおじせず、はきはきとあいさつや質問に答え、これらの交流の成果が早くも表われていると喜びを語っていた。



小日向区長さんにショウジョウバカマをプレゼント

葛飾区との交歓会

松里小学校六年

小野塚 和生

昨年の夏休み葛飾区のボーイスカウトと松之山で交歓会をしました。今年五月九日の東京・日光方面の修学旅行の途中で、ぼく達が東京に行つて、葛飾区の清和小学校で交歓会をしました。先生方や四年生の代表の子ども達、教育長さん、区長さん、PTAの方々など大勢の人達に迎えられました。松之山からは、カゴバナ、トキワイカリソウ、ウド、フキノトウを、おみやげに持って行きました。皆さんとてもよろこ

んでくれました。ぼく達もおやつや、たくさんのおみやげをいただきました。多くの歓迎のことばや、あいさつのあと、お互いに質問をしあったり、歌をうたったりしました。清和小学校は松里小学校の十倍くらいの人数がいます。でも葛飾区では小さい学校だと聞いておどろきました。やっぱり東京だなあと思いました。今度松之山で交歓会するときが、また楽しみです。

土曜朝刊で
緑化功労で
表彰される

八木さん
鈴木さん

全日本緑化功労賞を受賞した八木さんと鈴木さんの写真が、土曜朝刊に掲載された。この功労賞は、緑化功労が著しい個人や団体を表彰するもので、八木さんは、松之山町の緑化功労賞を受賞した。鈴木さんは、松之山町の緑化功労賞を受賞した。

米の生産意欲向上めざし 良質米共励会がスタート

町ぐるみで異常気象を克服しよう

ことしから町では農業改良普及所、農協、農家組合、農業委員会など関係機関の協力を得て「良質米安定多収種共励会」を実施することになりました。

これは、山間地稲作の振興を図ることによって農業所得を増大し、良質米の安定生産に寄与しようというのが目的。いま町産業課には、各部落の農家組合の推薦を受けた出品者の申し込みが寄せられています。

今春の豪雪と低温の影響で、稲の作付けが大幅に遅れると

もに、夏から秋にかけての気象も楽観できない状況にあります。「もう五、六年は異常気象は続く」との気象学者の予言もあり、「異常気象に強い」稲作りが、重要な課題となっている今、時宜にかなった取り組みといえます。

この共励会には、二つの特徴があります。一つは、出品を農家組合の推薦制にしている点です。農家数が三十戸以上の部落から二戸を、それ未満の部落からは一戸を、それぞれ推薦して

もらうもの。これには、共励会を通じて生産意欲の向上を、全部落的に喚起したいという狙いが込められています。

二つには、入賞の決定を十アール当たり収量の多少と、十アール当たり米販売額の大小の二部に分けて行う点です。これは品種選定の在り方も含めて、米の収量と販売額の関連に、興味深い問題が提起されるものと考えられます。

審査には普及所、農協、町産業課職員で構成する「審査委員会」が当たり、

表彰は秋の町農業祭を予定しています。

出品田に標示板を立て、広く

一般に展示しますので、参考に

見ていただき、部落ぐるみ良質

米の「安定増収」に励んでもらいたい。そう町では期待をかけて

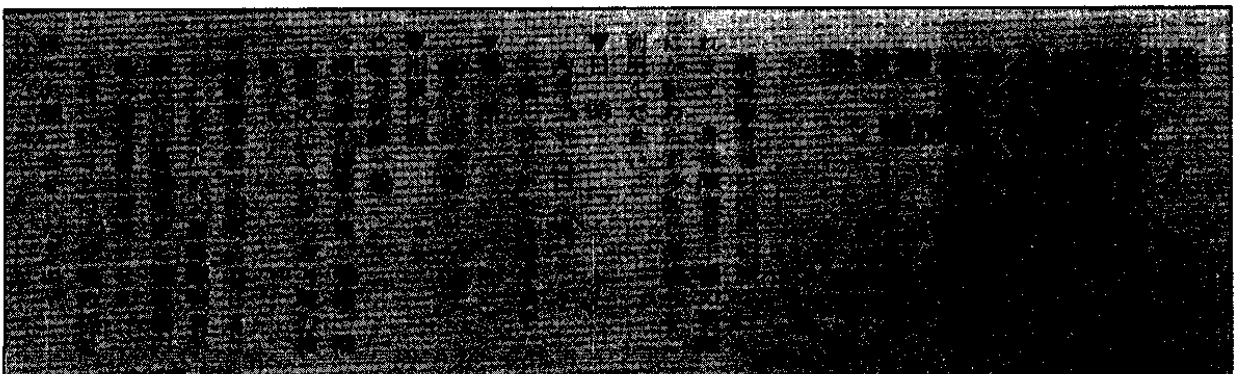
います。

審査基準

10アール当たり 収量の部	10アール当たり 販売額の部
① 坪刈りによって収量を決定する。	① 58年度米の売渡単価を用いて、販売額を決定する。
② 坪刈り箇所数は、原則として2箇所とする。	② 自主流通米単価と1等政府米単価を用いる。ただし、五百万石については、2等米単価を用いる。

入賞点数

区分	収量の部	販売額の部
最優秀賞	1点	1点
優秀賞	2点	2点
奨励賞	5点	5点
努力賞	数点	数点





▲町制施行

浦田口小学校体育館で昭和33年11月3日町制施行の式典が行われた。小中学生は日の丸の旗を持って町内を行進して町の誕生を喜び合った。



▲牧場開牧

5年の歳月と450万円の事業費で20ヘクタールの牧草地と40ヘクタールの林間牧場を開牧した。

▼地すべり中の議会

松之山地すべりで重大な危機に直面しているということで、新町議会発足にあたり「非常事態対処に関する議決」を行なった。(昭和38年9月9日)



昭和33年

- 5. 7 「村だより」創刊号発行
- 10. 1 松之山診療所に五十嵐医師着任
- 10. 1 町制施行・町章制定

昭和34年

- 9. 26 伊勢湾台風、町内におびただしい被害
- 9. 30 ブルドーザー初購入
- 10. 1 県立自然公園に指定される
- 11. 20 浦田線のバス開通式
- 12. 1 湯本簡易水道完成
- 12. 20 浦田小・中立山分校竣工

昭和35年

- 9. 27 季節保育所松之山公会堂ではじまる
- 12. 25 浦田中学校竣工

昭和36年

- 2. 20 36豪雪、松里小学校で420センチ記録
- 10. 15 松之山中・松里分校増築
- 11. 30 浦田中・屋体竣工

昭和37年

- 2. 27 37豪雪、松里小学校で435センチ記録
- 7. 7 松之山地すべりはじまる
- 7. 24 町商工会発足
- 12. 1 中央診療所開設
- 12. 3 地すべり災害対策本部設置

昭和38年

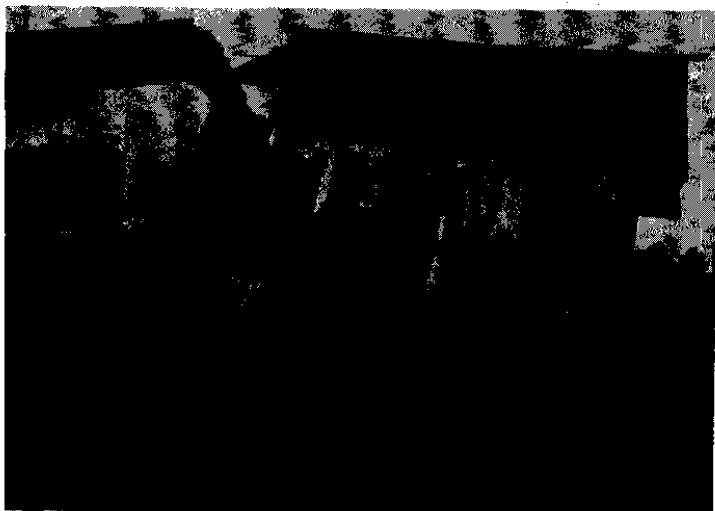
- 3. 14 地すべりのため松之山中学校取り壊し
- 8. 15 松之山簡易水道完成
- 8. 18 東北電力松之山変電所閉鎖

昭和39年

- 2. 1 高校松之山分校に普通課程新設
- 2. 7 松之山中学校竣工
- 4. 11 下鰐池の地すべり発生
- 4. 20 松之山小学校地すべりのため4教室取り壊し
- 6. 16 新潟地震
- 7. 1 大蔵寺高原牧場開牧式
- 9. 30 松之山温泉2号井89度の熱泉湧出
- 11. 20 松之山・里倉分校竣工
- 12. 10 松之山小学校竣工

昭和40年

- 7. 12 患者輸送マイクロバス運行開始
- 10. 1 国勢調査、人口1万台割る
(9,109人)



▲倒壊寸前の松之山農協倉庫



▲雪の中でも家屋の補修が続いた



▲浸水となった布川稚蚕飼育所附近

▼自衛隊がボートを持参で応援



松之山地すべり

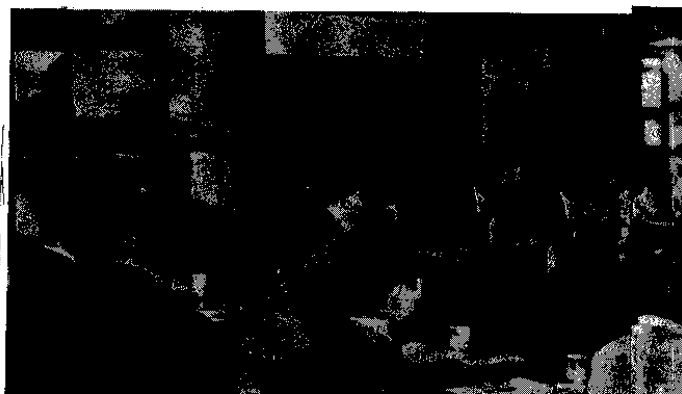
昭和37年突如として発生した松之山地すべりは約 850ヘクタールにおよび全国一の大地すべりとなった。取り壊された一般住宅は30戸
その他松之山小・中学校など公共建物など15戸となった。

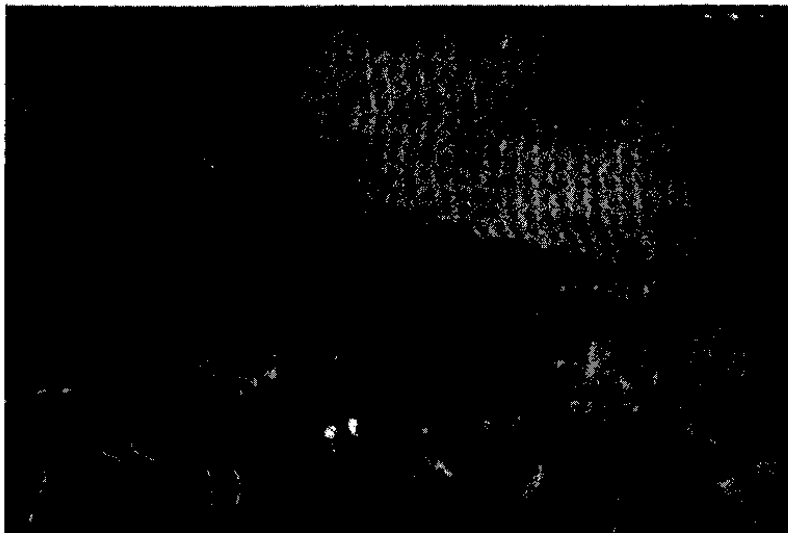
災害復旧事業は昭和38年から42年までの5年間に、集水井戸90基、抗打ち工事など約20億円が投入された。

下鰻池地すべり

昭和39年4月11日、幅200m長さ800mにわたる地すべりは、雪解けで増水している東川をせき止めた。

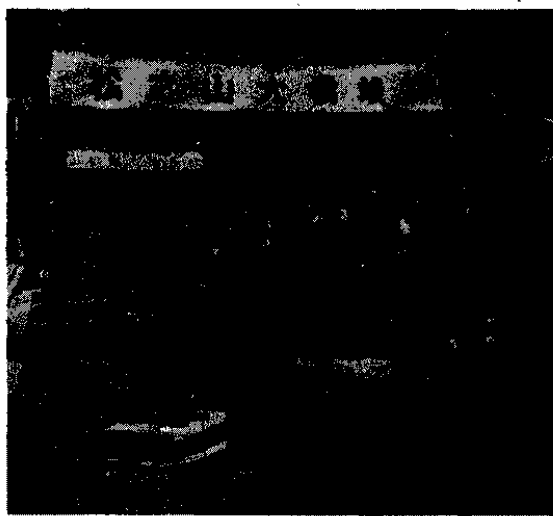
2日後には水面12ヘクタールにおよぶ湖となり住宅19戸が浸水。電柱も押し流され電気、電話が不通となり下鰻池など3部落が孤立した。





▲天水越の大火

五月十八日から春の日照が続き、乾燥しているところ五月三十日午前九時頃出火、全焼六戸、半焼二戸の大火となる。
消防自動車三台、可搬ポンプ二十六台、団員五一六名が出動、午後一時鎮火した。

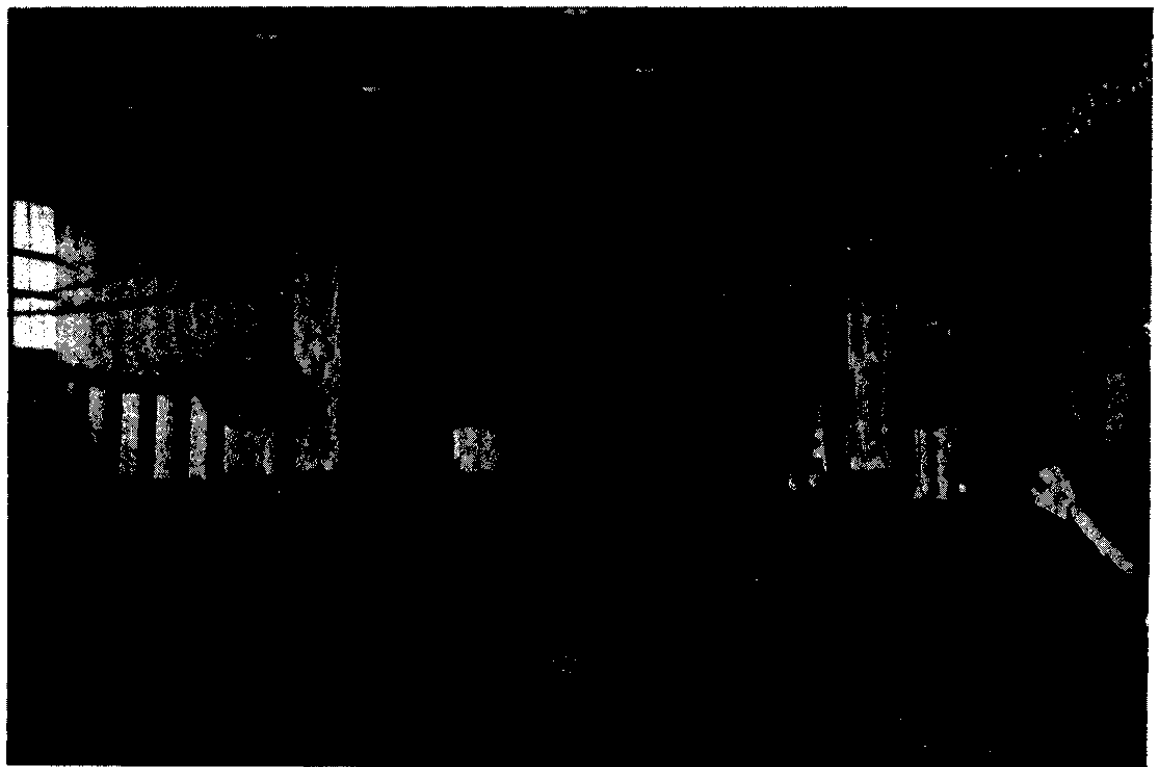


▲町営プール新設

松之山小学校前に町民プールを新設。テープカットする佐藤前町長

◀松之山大橋

西の玄関口に松之山大橋架設、亘県知事を迎え竣工式



▶地すべり復興と町制十周年

地すべり復興と町制十周年記念式典が松之山中学校で三五〇人が出席して行われた。
記念として全戸に銀杏の苗木を一本ずつ配布、地すべりの生々しい記録写真集を刊行した。

昭和41年

- 2. 10 松之山中・体育館竣工
- 9. 28 松之山小・体育館竣工
- 11. 28 急患輸送用に雪上車配置
- 12. 10 役場庁舎落成・合併10周年・松之山小体育館落成式典
- 12. 30 出稼者の正月帰省バス運行

昭和42年

- 1. 4 湯本で雪崩発生、死傷者9人
- 2. 19 42豪雪、松里小学校で430センチ記録
- 3. 29 湯山簡易水道完成
- 6. 22 町老人クラブ連合会発足
- 11. 30 東川出張診療所落成式

昭和43年

- 2. 18 43豪雪、松里小で435センチ記録
- 4. 1 高校、県下初の全日制分校
- 7. 29 消防自動車初購入
- 10. 28 町制施行10周年記念式典と地すべり復興祝賀会
- 11. 30 中央診療所竣工
- 12. 19 浦田教員住宅「浜海荘」竣工式

昭和44年

- 4. 1 診療所の名称変更（中央診療所を松之山診療所に、松之山診療所を湯本出張診療所に）
- 6. 1 町森林組合に労務班誕生
- 8. 1 出稼ぎ共助会制度発足

昭和45年

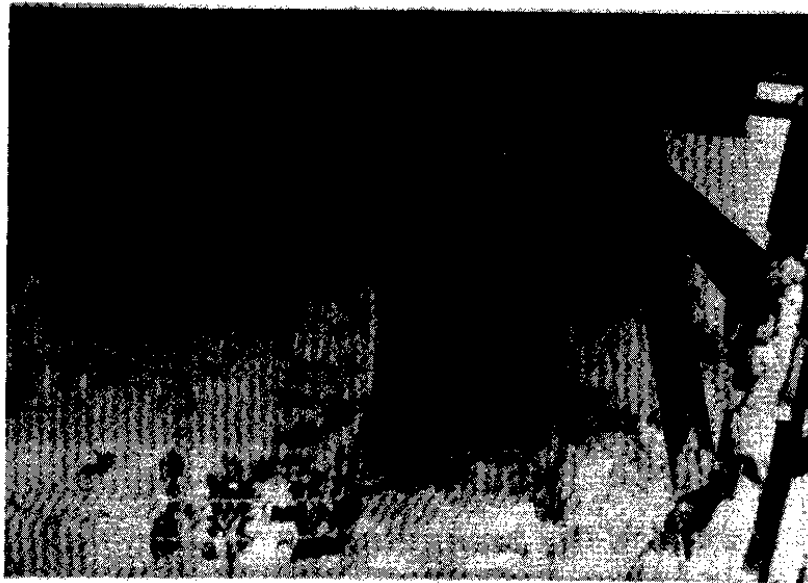
- 5. 30 天水越の大火、全焼6戸、半焼2戸
- 7. 27 町民プール完成（松之山）
- 7. 29 松之山温泉駐車場完成
- 10. 1 国勢調査、人口7,473人
- 11. 30 松之山中・総合校舎増築完成

昭和46年

- 3. 26 松之山中・松里分校開校式
- 4. 27 松之山中寄宿舎竣工式
- 7. 27 第2町民プール完成（東川）
- 10. 25 松之山に公衆便所竣工
- 12. 6 松之山保育所竣工

昭和47年

- 3. 31 浦田小学校竣工
- 6. 1 松之山保育所竣工
- 6. 23 松之山大橋（池尻）竣工式
- 10. 25 ロータリー除雪車初購入
- 10. 27 浦田小屋体竣工式

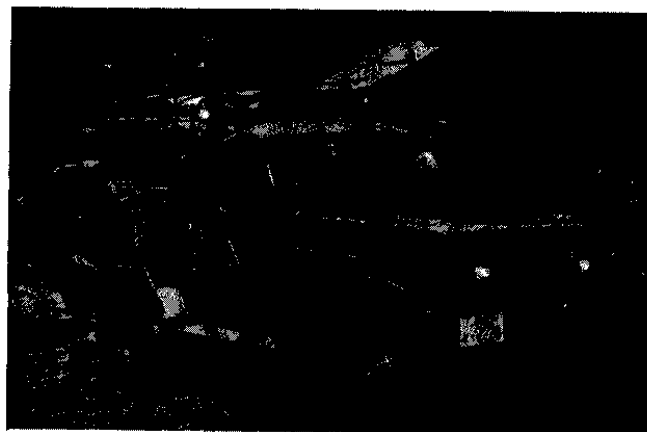


▲湯本の雪崩災害

幅80に長さ450に厚さ1.6の雪崩が1月4日午後3時発生、家屋全壊1戸、⑧の車庫など4戸が一部破損し、死者2人重傷3人軽傷3人の大きな事故となった。

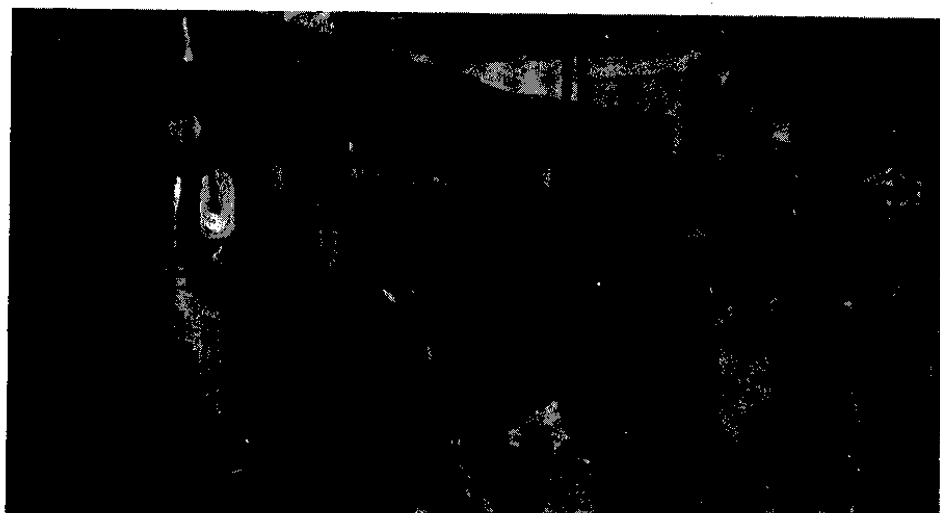
前日1日の降雪量は160センチの大雪を記録していた。

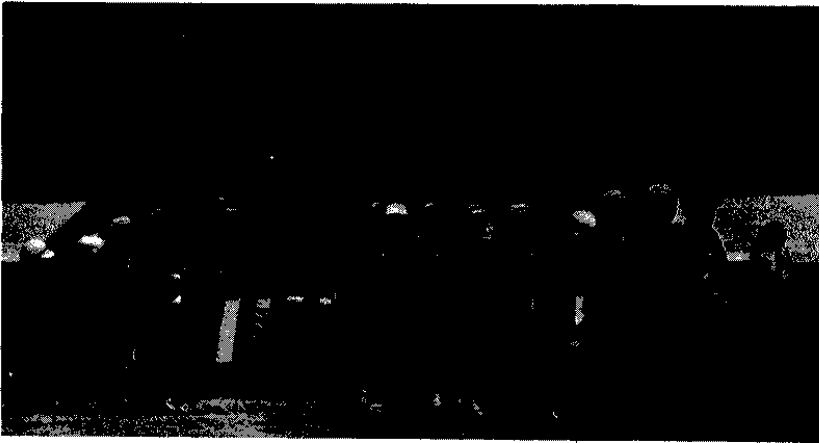
昭和四十三年消防自動車を初めて購入、その機動力は町全域に出動体勢を整え活躍した。



▼正月帰省バス

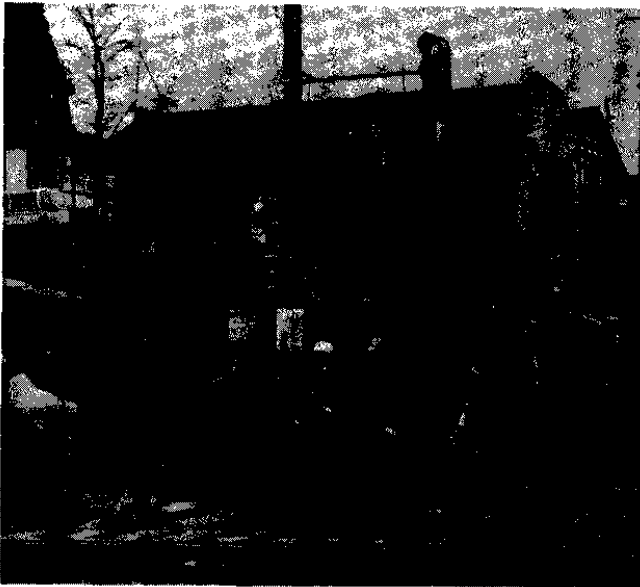
出稼者のために正月帰省バスの運行が開始された。（昭和41年12月30日）





▲町民体育大会

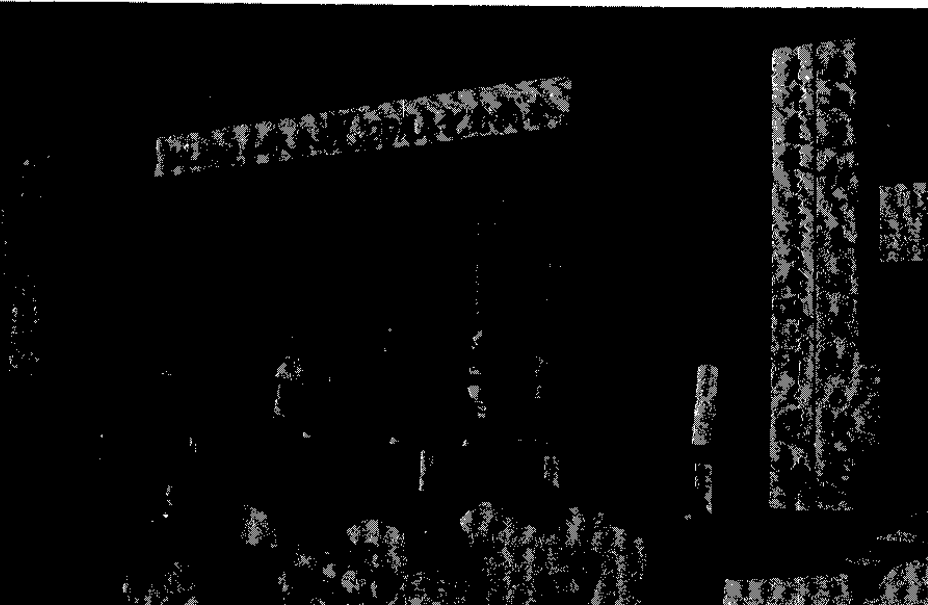
スポーツを通じて親善協力の精神を養い体力づくり、町づくりをはかろうと昭和51年から町民体育大会が開かれている。



交通量の増加にともない交通事故が多発してきたことから、初の信号機が町中心の交差点に設置された。

▼町連合婦人会20周年記念

昭和50年町連合婦人会結成20周年記念総会が開かれた。



昭和48年

- 3. 26 松之山中・東川分校開校式
- 3. 27 浦田小・中立山分校開校式
- 4. 1 自然休養村事業指定
- 4. 1 松之山温泉、国鉄の周遊地に指定
- 6. 21 深坂峠にセスナ機墜落2人死亡
- 10. 12 豊原ずいどう起工式
- 10. 24 高校教員住宅竣工式
- 11. 11 老人いこいの家「松寿荘」完成

昭和49年

- 2. 14 49豪雪、役場430センチ松里小490センチの積雪
- 4. 1 ホームヘルパー1名新設
- 6. 20 東川小完成、新校舎に引こし
- 9. 30 中立山農村集落センター竣工式
- 12. 23 松之山簡水竣工式

昭和50年

- 3. 2 50豪雪、役場 430センチ、松里小 480センチの最深積雪記録
- 4. 1 自然休養村事業スタート
- 4. 1 国道 353号線認定
- 7. 27 町連合婦人会20周年総会
- 8. 11 浦田克雪センター竣工式
- 8. 30 二代目の町長に村山政光氏初当選
- 10. 1 国勢調査、人口 5,930人

昭和51年

- 3. 7 金丸国土庁長官豪雪地視察
- 4. 1 上川手保育所松之山保育所に統合
- 6. 27 第1回町民体育大会
- 10. 4 県知事冷害地視察
- 11. 5 松里小学校竣工式
- 12. 1 電話ダイヤル化

昭和52年

- 3. 22 資料館開館
- 6. 5 県知事へき地訪問青空集会
- 8. 4 黒倉集水井水死事故(3名死亡)
- 11. 2 松之山中央交差点に交通信号機設置
- 12. 6 松里簡易水道竣工式

昭和53年

- 5. 20 自然休養村管理センター開館
- 5. 26 大巖寺高原で上越地方植樹祭
- 7. 24 町制施行20周年記念式典と自然休養村事業完成記念式典
- 8. 1 町老人クラブ10周年記念大会
- 12. 3 安塚高校松之山分校30周年記念式典と校舎・屋体竣工式
- 12. 9 松里保育所竣工式



▲豊原ずいどう起工式

鉄道に最短距離の東の入口、主要地方道高田・松之山・六日町線（現在国道 353号）の豊原峠は、冬期間は豪雪のため閉鎖され陸の孤島となっていた。トンネル工事の着手は当時町の明るい話題であった。

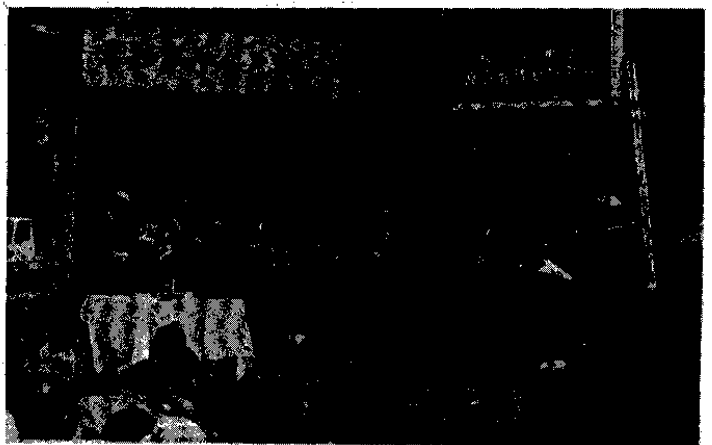
▶県知事の青空対話集会

へき地、豪雪地の声を直接聞こうと君県知事が来町して浦田と松里の二会場で青空対話集会が開かれた。



▲民俗資料館オープン

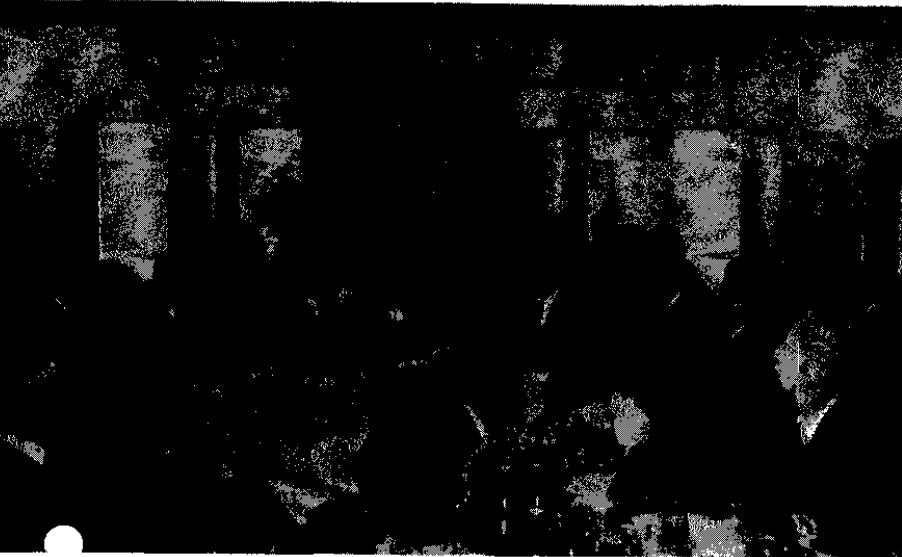
古い民家を湯山に移築して、農家の特徴を生かした資料館を開館した。観光客のほか、社会科の勉強に児童達も見学を訪れている。



▶町制施行二十周年

自然休養村事業の完成と合わせて町制施行二十周年記念式典が自然休養村管理センターで行われた。
第六回上越地方植樹祭が大蔵寺高原で挙行され、この二十周年記念事業のひとつとして大蔵寺高原の不動池のまわりに、小学生の手によって「大山桜」が記念植樹された。



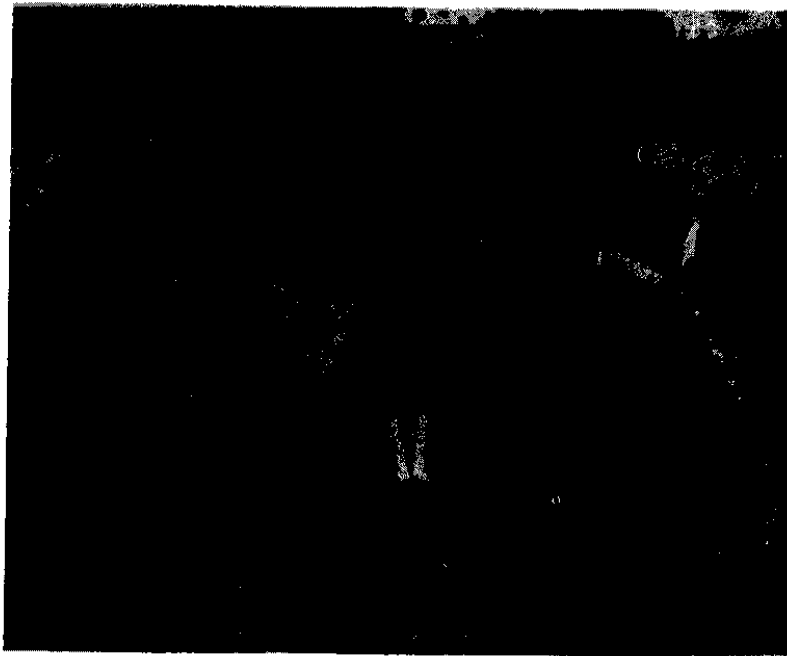


◀通年観光元年

スキー場開設により昭和59年の正月からこれまでの夏型観光を通年観光へと脱皮させた。

▼大蔵寺高原にブロンズ像

国画会会員千野茂先生作の等身大ブロンズ像（権）が大蔵寺高原不動池のほとりに建てられた。

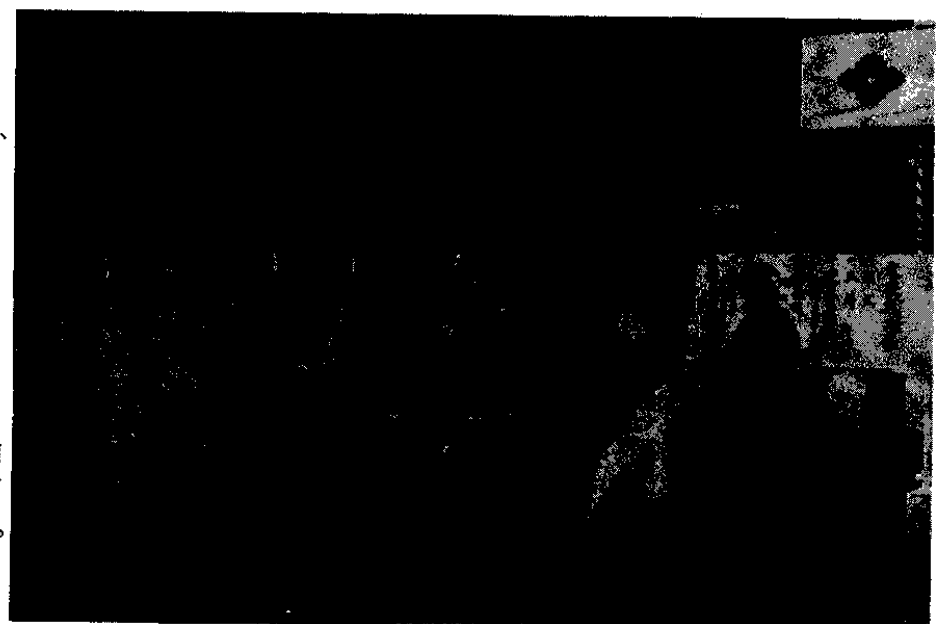


▲葛飾と松之山の交流

葛飾区長と村山町長が師弟の間柄から両町の交流を深めることになり、7月堀切菖蒲園の分園が大蔵寺高原に出来、また8月には子供交歓会が開かれた。

▶留山ダム の定礎式

天水田で、かんばつに悩まされてきた松里地区の300ヘクタールの水源を確保するため、60年度完成を目指してダム本体の工事が昭和58年から始まった。



昭和54年

- 6. 30 希望館オープン
- 10. 9 布川防雪センター竣工式
- 11. 11 三省小学校屋内運動場竣工式
- 12. 12 川手簡水通水式

昭和55年

- 3. 26 法務局松之山出張所開所式
- 4. 1 松之山、松里、布川の三農協が合併して松之山町農業協同組合発足
- 4. 1 浦田保育所竣工式
- 7. 5 町民体育館開き
- 7. 31 松里かんぱい起工式
- 10. 1 国勢調査人口 5,182人
- 11. 29 松口簡易水道通水式

昭和56年

- 1. 30 56豪雪、最深積雪役場 460センチ記録（初の災害救助法適用）
- 3. 27 松之山小学校川手分校開校式
- 3. 31 坪野小学校開校
- 4. 13 東頸消防署松之山分遣所竣工式
- 8. 24 峰越林道天水越線竣工開通式
- 11. 16 豊原トンネル開通式
- 11. 19 町商工会館落成式
- 12. 14 町農協育苗センター竣工式
- 12. 15 町営住宅完成

昭和57年

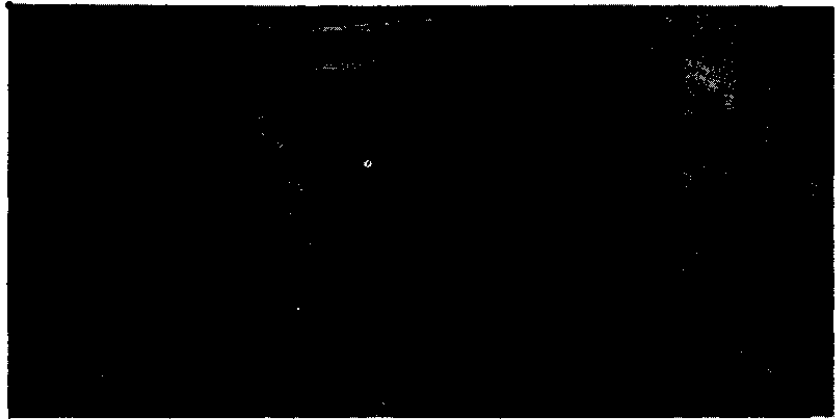
- 1. 1 浦田第1と湯之島簡水完成
- 4. 1 町の人口5千人割る(4,942人)
- 4. 6 布川保育所竣工式
- 4. 24 テニスコート竣工
- 5. 17 国道405号線認定祝賀会
- 9. 10 越後湯沢駅前に駐車場完成
- 10. 10 第1回町駅伝大会
- 10. 31 第1回町農業祭
- 11. 15 上越新幹線開業
- 12. 18 湯本駐在所竣工式（県下初めての耐雪設計）

昭和58年

- 6. 17 千野茂氏作のブロンズ像除幕式
- 7. 15 葛飾区の堀切菖蒲園の分園できる
- 7. 15 大蔵寺牧場開牧20周年記念祝賀会
- 7. 29 留山ダム定礎式
- 8. 3 第1回葛飾・松之山子ども交歓会
- 12. 3 町営松之山温泉スキー場オープン

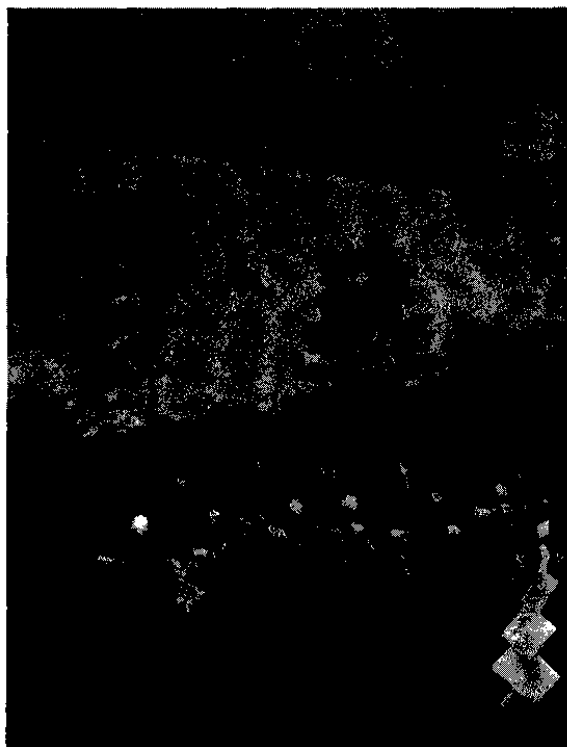
昭和59年

- 3. 1 59豪雪、観測史上1番の大雪（松里小 590センチ、役場 559センチ記録）



▲豊原トンネル

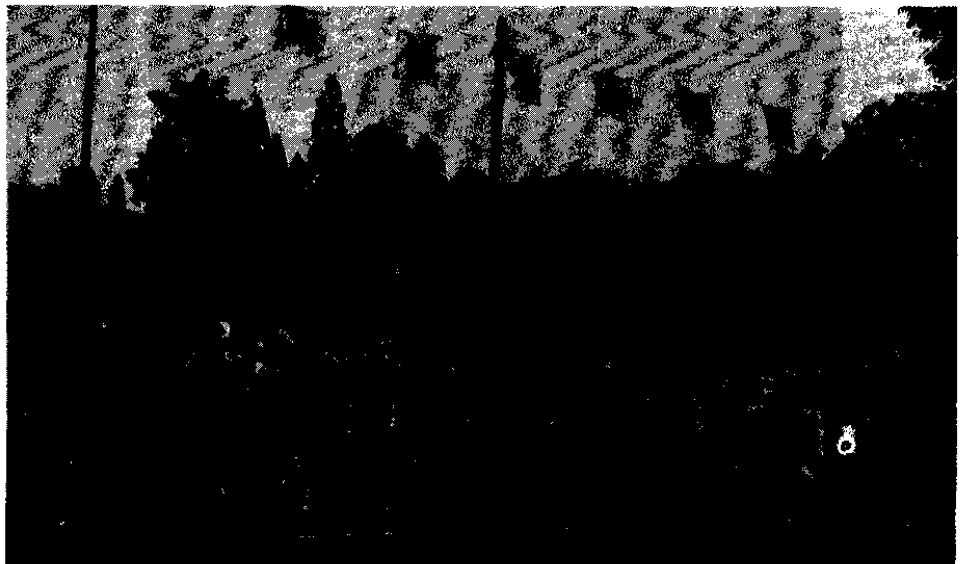
豊原峠は急坂、急カーブで冬期間は雪崩の危険におびえて来たが、この豊原峠に長年の悲願であったトンネル（延長 772m）が完成した。



▼駅伝大会
町内を一周するコースを地区対抗で競う駅伝大会が、昭和五十七年から始まった。

大蔵寺高原から長野県境を越える峰越林道（約6km）が四十七年から十年の歳月をかけて開通した。

▲峰越林道開通



町では健康週間の期間中、松之山町農協、浦田農協の協賛により、昨年同様「総合検診」方式による各種検診を六月二十五日から二十九日までの五日間、町民体育館で行います。対象者は全員受診し、自分の健康を確かめて下さい。

昨年のガン検診にはご不自由をおかけしましたが、今年は午前でも午後でも受診できます。午後の胃ガン検診を受ける人は、朝食を早目に済ませて下さい。

▼昨年同様部落ごとにマイクロバスを運転します。

▼検診指定日にこだわらず、いつでも受診できます。

▼詳しいことは、後日案内書を添えて通知します。

※お問い合わせ
役場・保健衛生係へ

各検診の受付時間

	午 前 の 部	午 後 の 部	対 象 者
循環器検診	8:30~11:00	1:00~3:00	40歳以上及び出稼者で職場等で検診を受けられない人
結核検診	8:30~11:00	1:00~3:00	
胃ガン検診	6:30~10:00	1:00~2:30	40歳以上 } の希望者は
子宮ガン検診	7:00~8:00	1:00~2:30	30歳以上 } 誰でも

※但し子宮ガン検診の27日、28日は午前の部はありません。

昭和59年度

職業訓練指導員の受験案内

- 試験日 昭和59年 7月22日
- 受験申請期間 昭和59年 6月4日から
6月16日まで
- 詳しくは商工会にお問い合わせ下さい

自分の体は
自分で守ろう

総合検診

6月 25日~29日

ガン検診も
受けましょう

-433-

新潟県
書の衛生週間

6月4日~10日

「よい歯でつるつる」
健康にいきなす

- ### 入札結果
- 5月
- ▽建第一号 舗装修繕工事・松代松之山線（松之山）
上越舗道 六一〇万円
 - ▽建第二号 道路災害復旧・東川藤倉天水越線（藤倉）
大海組 一四〇万円
 - ▽建第三号 崩田田麦立線・道路改良（月池）
大海組 二、七〇〇万円
 - ▽建第四号 松口坪野線・舗装（三桶）
福田道路 一、一七〇万円
 - ▽建第五号 東川藤倉天水越線
舗装（藤倉）
福田道路 九九〇万円
 - ▽建第六号 地付線・舗装工事（黒倉）
福田道路 一、二五〇万円
 - ▽建第七号 崩田・月池線・舗装（豊田）
上越舗道 八〇〇万円
 - ▽建第八号 由尾・田麦立線・舗装（田麦立）
福田道路 七五〇万円
 - ▽産第一号 団体営地すべり関連ホ場整備（天水越）
高橋組 七二〇万円
 - ▽産第二号 団体営地すべり関連ホ場整備（中坪）
高橋組 一二〇万円
 - ▽産第三号 団体営地すべり関連ホ場整備（狐塚）
高橋組 七一〇万円
 - ▽産第四号 農村基盤総合整備ホ場整備（湯之島）
飯塚建設 二、四七〇万円
 - ▽産第五号 団体営地すべり関連ホ場整備（中坪地区第五次）
高橋組 二、五〇〇万円
 - ▽振第一号 林道中原大蔵寺線改良工事
高橋組 四七七m
 - ▽振第二号 林道中原大蔵寺線舗装（浦田）
福田道路 四五〇m
 - ▽振第三号 林道野々海天水越線舗装（天水越）
福田道路 六二〇m
 - ▽振第四号 鏡ヶ池復元事業、取付道路一〇〇m、駐車場舗装七三三m
上越舗道 九五〇万円

上越地域消防事務組合

昭和58年度予算状況

歳入

区 分	予 算 額 千円	収 入 済 額 千円
分 担 金 及 び 負 担 金	1,434,590	1,434,590
1 一 般 負 担 金 (市町村負担金)	1,395,256	1,395,256
2 特 別 負 担 金	39,334	39,334
使用料及び手数料	6,604	7,287
国 庫 支 出 金	20,305	0
財 産 収 入	13,110	13,110
寄 附 金	1,000	1,000
繰 入 金	0	0
繰 越 金	50,288	50,288
諸 収 入	17,293	16,073
歳 入 合 計	1,543,190	1,522,348

歳出

区 分	予 算 額 千円	収 入 済 額 千円
議 会 費	1,729	1,495
総 務 費	1,491,202	1,441,296
1 総 務 管 理 費	1,482,028	1,433,845
1 一 般 管 理 費	1,428,605	1,380,422
2 財 政 調 整 基 金 費	53,423	53,423
2 特 定 地 域 防 災 対 策 費	9,174	7,451
公 債 費	45,694	45,274
予 備 費	4,565	0
歳 出 合 計	1,543,190	1,488,065

財政状況を公表

予算額は15億4,319万円

上越地域消防事務組合（管理者・植木公）では、組合管内の皆さんに財政状況について理解していただくために毎年二回財政状況を公表しているが、このほど昭和五十八年十月一日から昭和五十九年三月三十一日までの状況を発表した。

▼昭和五十八年度の予算状況
九月末現在では予算額一億二、六二二万七千円でしたが、その後一、七〇六万三千円を増額して三月末の予算額は二億四、三一九万円になった。

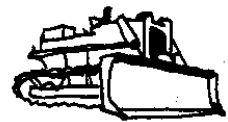
増額した主なものは繰越金の増額に伴う財政調整基金積立金の増額等である。

▼土地面積（一〇）八、六六六㎡
▼建物面積（一八）八、九五〇㎡
（松之山分遣所は鉄筋コンクリート二階建二九八・七㎡）

▼有価証券、電信電話債券（割引債）額面 三六八万円
▼車両 六二台
消防自動車一九台、指令車一二台、救急車七台（日赤分七台、査察車六台、救助工作車四台、化学消防自動車三台、はしご車などその他一一台）

▼基金（財政調整基金）
○一般分 二億〇、一一六万三千円
○石油コンビナート分 五、一八四万六千円
○地方債の現在高（五十九年三月三十一日） 三億一、四九四万九千円
▼一時借入金現在高（五十九年三月三十一日） 〇円

建設機械の 運転技能講習



労働安全衛生法の定めにより、機体重量が三トン以上の車両系建設機械の運転は、各都道府県労働基準局長の指定する機関が行なう技能講習を終了した者でなければ、運転できないことになっており、ことから、建設業労働災害防止協会新潟県支部では

年四回の講習を行なっている。

▽開催日時及び場所
○三回目
学科・六月二十五日～二十六日
実技・七月十六日～二十日
○四回目
学科・九月三日～四日
実技・九月二十五日～二十九日。

○場所
新潟市新崎二五六（株）神戸製鋼所、新潟神鋼サービス内。
○受講資格
満十八歳以上の男子。
▽連絡先（申込み先）
申込み要領等で不審の点、その他質問は、左記にご連絡して下さい。
☎（〇二五）二四一〇四四〇
新潟市学校町二番町学校町ビル2F・建設業労働災害防止協会新潟県支部

**「海技免状」
切 換 中**

海技免状の旧様式を昭和五十八年四月三十日から廃止し、新様式の海技免状に切換えを行っています。

海技免状受給者は、新潟県運輸部建設課（新潟市中央区）にお越しください。お問合わせは、建設課（電話）〇二五二四四一〇。

松之山町文化協会

美術・芸能・趣味・文芸 4部門で会員募集

絵を描き、踊りを習い、歌を習い、詩を書き、創作の喜びを味わう。——一人ひとりが、気軽に文化活動に参加できる組織、それが文化協会です。——
日頃、何か活動をやってみたいと思われておられる方、今年は会員になってみませんか。
〈会費〉
一般会員 五〇〇円
特別賛助会員 五〇〇円以上
個人 二、〇〇〇円以上
法人 五、〇〇〇円以上

〈加盟グループ〉
▼美術部門 日本画、洋画、書道、写真、工芸
▼芸能部門 コーラス、洋楽、能楽、太鼓、三味線、民謡、尺八、神楽、詩吟、演劇、民踊
▼趣味部門 囲碁、華道、盆栽、特産工芸、特産食品
▼文芸部門 俳句、短歌、文芸、詳しいことにつきましては町公民館電話六二二六五番までお問い合わせ下さい。

芸 能 部

6月24日(日) 総会と芸能発表会

文化協会が一番の大部隊、芸能部会員(二二名)が一堂に会して、それぞれの芸能を発表し合いながら親睦を深めようと、左記により総会を開催いたします。
会員でない方でも入場できますので、芸能発表をご覧になりたい方はぜひお出かけ下さい。
期日 六月二十四日
午前十一時より
会場 松之山部落公会堂

町体育協会

「特別賛助会員」募集

町体育協会の運営は、各加盟団体の負担金と町からの助成等によって支えられておりますが、本来の目的を達成するには財政力の充実もはからなければなりません。
本協会の事業をより効果的に進展させるため、賛助会員を募集していますので格別のご協力をお願いします。
▽会費
個人 一口 二、五〇〇円
法人 一口 五、〇〇〇円
▽会員の特典
スポーツ安全傷害保険がつきます。
▽名誉会員
通算十年会員になった方は、名誉会員となり記念品を贈呈します。
▽申し込み
各地区体協役員または町公民館体協事務局へ申し込みください。

「婦人会だより」

今年から年四回発行 会員の投稿を歓迎

毎年発行しておりました、婦人会誌に代わりまして、今年度より、機関紙「婦人会だより」を年四回発行することとなりました。六月中に第一号の発行を予定しておりますが、発行にあたりまして、皆様の投稿をお待ちしております。
▼資格 婦人会々員
▼内容、字数は自由
(但し、政治、宗教に関する内容につきましては、編集の際、削らせていただきます。)
▼締切日 なし(到着順に掲載させていただきますので、常時受付いたします。)
▼送り先 松之山町公民館
嬉しかったこと、悲しかったこと、困ったこと、ご意見、ご希望、ことに婦人会の組織や会員の意識の向上についてのものは大歓迎ですので、どしどしご投稿下さい。

上越陸上大会で 中学・高校生が大活躍

このほど陸上競技の幕開け大会が上越市と柏崎市で行われ、松之山の生徒が大活躍した。
▼中学・上越選手権(五月十五日・上越市)
一、五〇〇m ①小野塚修(上郷池)
三、〇〇〇m ①小野塚修(上郷池)
▼県高校春季上越地区大会(五月十七日・柏崎市)
四〇〇m ①和久井秀治(水梨)
一、五〇〇m ①相沢義和(下郷池)
やり投げ ①佐藤 正(天水越)
砲丸投げ ①布施政子(黒倉)
(優勝者のみ)

明るい家庭づくり運動作文
優秀作品
親子で楽しんだ町民体育大会

浦田中学校 一年 江口 洋子

町民会 議長 賞

夜七時頃、家族で夕食を食べ
ている時こんな話ができました。

「今年の町民体育大会はいつ
だ。」と父が言うと柿が

「七月三十一日だよ。」と答え
ました。

それを聞いて父はお酒をゆっ
くり味わいながら一口だけ飲む
と、

「体育大会にはまだ一回も出
場していないし、今年はずよう
どひまがあるから出てみるか。」
と言いました。

すると姉も私も

「あ、それいいね。いい考え
だ。父ちゃんだつて出てみれば
いいや。とつても楽しいよ。」

父ちゃんと母ちゃんがそろつて来
るなんてめつたにない事だもん
と言いました。

それから体育大会の事につい
て色々話し合いながら、夕食を
進めました。

それから数日して、綱引きや
うずまきレースの練習が小学校
であり、父はその練習に大好き
なお酒もひかえてはりきつて出
ました。

それを見ていた母が
「体操着やズックがないから
新しいのを買おうか。」

だつて初めて親子で体育大会に
出るんだからね。」

と言いました。

そして色々な店をまわつて、
父にあった色の体操着を買つて
きました。

もちろん、だれも買つて悪い
だの、大会に出て悪いだのなん
て言う人はいませんでした。

父は毎日毎日家族のために一
生懸命仕事をしています。

大工という仕事はとても忙し
い仕事で、一日中遊んだり、休
んだりする日はありません。

力仕事や神経を使う仕事ばか
りで、とてもつかれていると思
います。

だから一日ぐらい体育大会で
楽しんでもいいと思つていまし
た。

父はもう大ハッスルしていま
した。

そして母も父も姉も、もちろ
ん私も当日を楽しみに待つてい
ました。

さて当日、みんなバラバラに
会場に行きました。

私は、三キロロードレースに
出ました。

走り出しは良かったのですが
途中はなんとビリでした。

やつと前の人について行く程
度でした。

でも最後になつたら道の脇に
父がいて、一生懸命に応援して
くれていました。

私はそれに気付き、今まで腹
に手を当てていたのをやめ、ラ
ストスパートをかけました。

父の応援のせいか、すごく力
が出て前の人をこしゴールしま
した。

私はとてもうれしくて、前の
人をこせたのもそうだけど、何
よりも初めて父から応援しても
らつた事が大きな喜びでした。

それから少しすると今度は、
大人が主役の種目が始まりまし
た。

父はうずまきレースになると
はりきつてグラウンドに出て行き
ました。

真新しい体操着にズックを身
につけ、ニコツと笑いました。

そして乱戦の結果三位でした
が、あんなにすがすがしくうれ
しそうな顔は、本当に久しぶり
に見ました。

父は手にささやかな賞品を持
っていました。

姉はすっかり父の顔をカメラ
に納めていました。

お昼は母の作ったおいしいお
弁当をみんなで食べました。

私はこの時、家族って本当に
いいなあ、と思いました。

こうしてとても楽しい一日を
過ごしたわけですが、今ふり返え
つてみると家族は、時々こうい
う事があつた方がいいなと思ひ
ました。

家に帰つて祖父母にいっぱい
話をする、笑つてとても楽し
そうに聞いてくれました。

私の家では、家庭の日は別に
何もせず意識もしませんが、そ
のぶん夕食の時など色々な話が
でてとても楽しいです。

家族みんなで話すという事は
とても良いことで、とても大切
なことだと思います。

話しをしたり、いっしょに何
かを作ったりしたりする事は、
本当に明るい家庭づくりの第一
歩になるのではないかと、私は
思います。

町民体育大会があつてから、
私はそんな事を考えるようにな
りました。

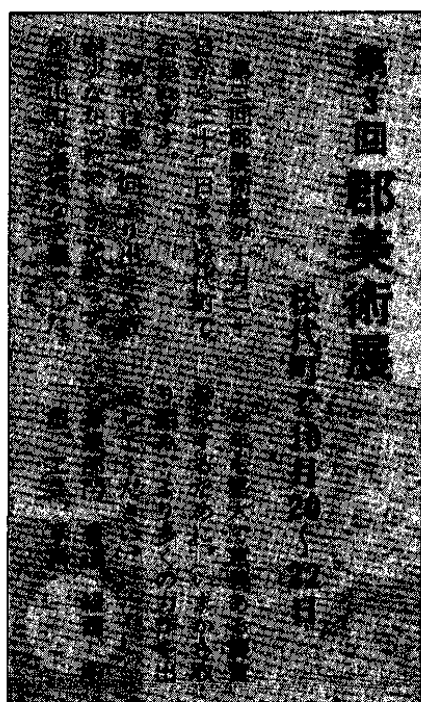
私が大きくなって結婚し家庭
をもつたら、家族全員で一つの
話題を話し合つたりして、心の
つながりを深くして行きたいと
考えています。

そして、明るい家庭にしたい
です。

今年の町民体育大会は、とて
も有意義なものとなりました。

これからもこういう機会をつ
くり、明るい家庭づくりができ
るように工夫したいものです。

みなさんもちよつと考えてみ
てはいかがでしょうか。



第34回「社会を明るくする運動」

防ごう非行

助けよう立ち直り

7月1日～31日の1か月間

第三十四回「社会を明るくする運動」が七月一日から三十一日までの一か月間行われます。この運動は、すべての国民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。今年の重点目標は「地域活動の推進による少年の非行防止と更生の援助」で、少年非行の防止と非行少年の更生を図ろうとするものです。ここ数年、少年非行は増加の一途をたどり、万引きやオートバイ盗など窃盗事犯の増大、覚せい剤・シンナー等の薬物濫用

事犯の増勢、中学校における校内暴力事件の多発や恐喝、傷害事件など粗暴な非行の増加の傾向が依然として認められ、しかも、非行の低年齢化・一般化の傾向が顕著となるなど、事態は極めて憂慮すべき状況にあります。こうした状況は、遊興的・享乐的な社会風潮を反映するとともに、家庭、学校、職場及び地域社会における人間関係の希薄化など少年を取り巻く環境の変化に基づくところが多いので、地域住民一人ひとりが力を合わせ、幅広い地域活動を展開していく必要がある。

人間関係のトラブルの相談は

人権擁護委員に

六月一日は「人権擁護委員の日」でした。毎日の生活の中で人間関係で悩む人のために、人権擁護委員の制度があります。人権擁護委員は、わたしたちの基本的な人権が侵されないよう

に監視し、また人権にまつわるいろいろな相談を受け付けています。日本国憲法で、人間としての基本的な権利を保障しています。わたしたちの周りには、家

庭内のもめごとや隣近所とのいざこざから、婦人・障害者問題など、人間関係をめぐるさまざまなトラブルが起きています。家庭や職場や学校で「人権の共存」とはどういうことなのか、そのためにわたしたち一人一人はどういうことを心がければいいのかといったことを、話し合ってみてはいかがでしょうか。

▽人権擁護委員

福岡一雄さん(天水越・酢屋)

☎六―二一三四

東北電力の電気知恵袋

照明

これは便利 No.8

裸電球の下で、よくつくろいものをしたけど、今思うと、ずいぶん暗いところでやってたんじゃないかしら？
目が疲れるのもあたりまえだったのね。
今は、家の中がずいぶん明るくなったようね。

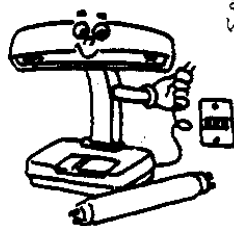


● 極端なカゲができないようにすること。
本を読むときなど注意してください。



● ランプの手入れや交換のときは、電源を切つてからにしましょう。

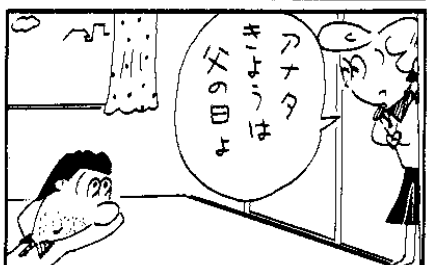
● ランプがついているときや、消してすぐのときは高温になっていますから、さわらないでください。



さわやか

西村 泉

君



水田利用再編対策

転作見込面積

70.6ヘクタール

2ヘクタール不足追加受付中

今年の転作計画書を提出していただきましたが、集計の結果約二ヘクタールの不足となりました。

転作の追加がありましたら、産業課の農政係へ電話をしてください。

目標未達成となると、米の買入れ限度数量の減量配分などいろいろ支障が生じてきます。

消雪の遅れ等により作付困難な水田がありましたら、管理転作等にしていただきますようご協力をお願いします。

県からの配分八、一六〇アールに対して、現在の転作見込面積は七、〇六〇アールになっており奨励金交付期間の終了した転作

実績算入面積九〇〇アールを加えても二ヘクタールの不足となっています。

保全管理水田で三年間の奨励金交付期間が終わった場合でも他の作物に切り替えれば引き続き転作対象となります。(例)五十六年から五十八年に管理転作をした水田に今年レンコン・クワイ・鯉・大豆等に転作した場合は対象となる)

果樹、林地等転作奨励金交付期間が終わった定着田についても、定着分として目標面積に算入されますので、引きつづき下草刈、補植等の管理を充分行って下さい。

休診

松之山診療所

6月2日(土) 医師都合
6月16日(土) 指定休日

停電

東北電力

▽6月12日

○午前8時から12時まで

松之山の一部、藤原、黒倉、○午後1時30分から4時30分まで

大荒戸、小谷、水梨

▽6月14日

○12時から午後4時30分まで

松之山の一部、兎口、湯山、湯本、中坪、天水島、天水越

6月12日

2日 消防分団長会議

8日 老人クラブ会議

9日 県議会産経委員会視察(豪雪被害の現地視察)

11日 傷痍軍人会臨時総会

12日 観光協会総会

14日 町社会福祉協議会

15日 出稼者共助会

17日 良質米共励会の打合会

18日 心身障害者会議

19日 タバコ総代会

22日 森林組合総代会

26日 松之山温泉まつり(20日まで)

27日 町青年団委員会

28日 農業委員会総会

28日 探鳥会

28日 議会総民委員会

戸籍の窓口

5月

人口の動き

出生 三人

死亡 三人

転入 一人

転出 一人

□六月一日の人口

人口 四、六一八人

男 二、二四五人

女 二、三七三人

世帯数 一、三一九戸

北越北線
第三セクター

出資金の配分決まる

松之山町は200万円

北越北線の第三セクター設立
準備会（会長君県知事）は、五
月二十六日、十日町市で理
事会を開き沿線十七市町村

の出資金配分を決めた。

資本金は三億円とし、出資比
率は、四十七％が県、二十％を
民間資本、残りの三十三％を十
七市町村とした。

配分額は、最低百万円として、
各市町村の人口規模、財政状況
等を考慮し、駅が設置されたり、
温泉等があり乗降客が多く受益
度が高いと思われる市町村に特
別加算する方法で算定された。
各市町村とも六月定例議会に
追加補正を提出して、審議され
る予定。

出資配分

▽新潟県	一億四、一〇〇万円
▽民間団体	六、〇〇〇万円
▽上越市・十日町市	三、一〇〇万円
▽六日町	五五〇万円
▽松代町	五〇〇万円
▽湯沢町	四五〇万円
▽蒲川原村・大島村・大潟町・ 頸城村	三〇〇万円
▽松之山町・安塚町二〇〇万円	
▽牧村・三和村・川西町・津南 町・中里村・塩沢町	一〇〇万円

雪害対策本部5月31日解散

町は今冬の異常豪雪に対応し
て一月十八日に豪雪対策本部を
設置したが、さらに雪が降り続
いたため一月二十七日雪害対策
本部に切り替えて豪雪と取り組
んで来た。
この豪雪もようやく消えたこ
とから、五月三十一日対策本部
を解散した。
積雪ゼロを記録した日は、役
場前が五月二十五日、松里小学
校では五月三十一日で、消雪日
も史上最悪の記録となった。

浦田克雪センター前に

ボックス公衆電話を設置

浦田地区には公衆電話が少な
く、昼夜利用できる電話がな
かったことから、このほど克雪セ
ンター前にボックス公衆電話が
設置されることになりました。
六月中旬開通予定で工事が始ま
っています。
この電話はプッシュ式の黄色
型公衆電話で百円硬貨も使用で
きますので、長距離通話にも便
利です。また、災害・非常時の
優先電話にセットされますので、
役場、農協、診療所、学校等に
電話するときは短縮番号でつな
がります。利用方法はボックス
内の案内板に掲示されます。

農作業のトラクター料金決まる

農作業のトラクター料金につ いて、町と農協で協議の結果次 の通り決まりましたので参考に して下さい。	
10アール当り（運転者付き）	
▼田耕うん	
○整備田	四、〇〇〇円
○未整備田	四、三〇〇円
▼代かき	
○整備田	四、二〇〇円
○未整備田	四、五〇〇円
▼耕うん代かき	
○整備田	六、〇〇〇円
○未整備田	六、五〇〇円